

7年間におよぶ挑戦の末、ついに姿を現した

# 北限の富士

富士山遠望は、これまで様々な可能性が撮影により実証されてきた。

そのような中、富士山遠望の最後の課題であった北限は

花塚山からの可能性が残され

理論と現実が一致しない状況が続いていた。

しかし、今回、長年の課題であった花塚山からの遠望が確認され

富士山遠望の最後であり、最大の課題が解決した。

## 花塚山が

## 富士山に見える北限に

ついに、富士山に見える北限が、花塚山（標高918.5m）だということが証明されました。

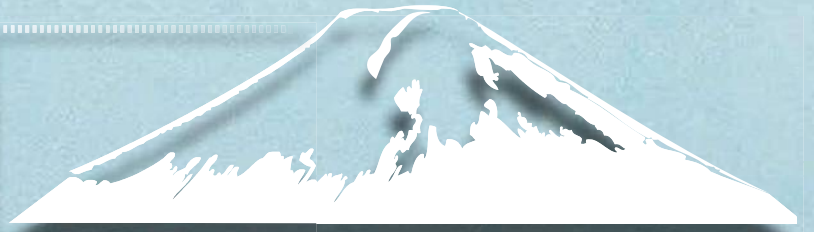
これまで、日本一の高さである富士山が見える北限は、理論上、川俣町と飯館村にまたがる花塚山とさられていましたが、実際に花塚山から富士山の撮影に成功した例はありませんでした。

しかし、菅野和弘さん（大綱木・58歳）、齋藤金男さん（大綱木・69歳）、大槻功さん（宮城県丸森町・58歳）の3人が、平成22年から7年間にわたり、花塚山からの富士山撮影に挑戦し続け、ついにその姿をとらえることに成功しました。

3人が花塚山から撮影した富士山の写真は、1月16日、富士山の展望に詳しい一般財団法人日本地図センター常務理事の田代博さんが確認作業を行いました。パソコンソフト「カシミール3D」により作成したCG

写真:菅野 和弘さんが平成 28 年 11 月 26 日に花塚山から撮影した富士山 (中央に写る街並みは須賀川市)

ついに解決！  
富士山遠望  
最後の課題



富士山から 308 km 離れた  
花塚山から撮影された富士山



と写真が一致したことで、写真に写る山は、間違いなく富士山だということが証明されました。

今回、田代さんにより確認作業が行われた写真は、撮影日が異なる4枚で、それぞれ平成28年11月26日、平成25年1月5日、平成23年12月11日に撮影されたものです。

今回、この4枚の写真を同時に確認した理由について、田代さんは「撮影に挑み続けてきた3人が、より明瞭な写真の撮影にこだわり、チャンスを狙っていたが、PM2.5などが要因で近年の気象条件が悪化しており、これ以上の撮影は困難だと判断したため」と話します。

これまで、遠くから望む富士山については、東西南北、数多くの写真が撮影されていますが、富士山が見える可能性があり、実写されていなかったのは、この花塚山からの写真だけでした。

今回、3人の長きにわたる挑戦と努力により、富士山遠望最後の課題が解決されただけでなく、私たちのふるさと川俣町は、晴れて、富士山の見える北限の町になりました。